

野田ロータリークラブ週報



Peace
through Service

奉仕を通じて平和を

2012-2013年度 国際ロータリーのテーマ

第2690回例会(2月25日) 第2683号 2013.3.4発行 ■創立:昭和31年5月 ■例会日:毎週月曜日 PM12:30~13:30

会長:古谷 尊生 / 会長エレクト:伊藤 義雄 / 副会長:染谷 栄 / 幹事:三浦 直哉 / 副幹事:栗林 徹

例会場 事務局

〒278-0035 野田市中野台168-1 野田商工会館内5F(樺のホール) TEL(04)7125-0061 FAX(04)7125-0055 ■発行責任者:古谷 光裕

会長挨拶



古谷 尊生 会長

皆さんこんにちは、このところ史上最強の寒波がやってきているとのことで、もうすぐ3月になろうとしているのに、雪国の人たちの雪かきは大変だろうなあと思ってしまいます。

さて、昨日は野田ライオンズクラブの創立30周年記念式典に出席して参りました。

ライオンズという名前だけでなく、会員を呼ぶ時も誰々ライオンと呼ぶし、返事もライオンのように

ウオーと答えるし、式典の最後には全員でライオンズローアと言って、リーダーの掛け声とともに、3回ウオーを繰り返して氣勢をあげていて、とても興味深い式典でした。

ロータリークラブにしろ、ライオンズクラブにしろ、青年会議所にしても、現在の悩みはどこも同じく会員の減少だということで、改めて会員増強の必要性を感じて参りました。今後とも、残された期間の中で会員増強を進めて参りたいと考えておりますので、皆様のご協力を更にお願ひ致します。

さて、毎日寒い風がビュービューと吹き捲っておりますが、そんな中でも春は確実に近づいております。庭のあちこちに露の臺が顔を出してきております。そこで、子供の頃のあの苦さが嫌いで、なんであんな苦いものを食べるのかわからなかったのですが、大人になってみてその美味しさに目覚めて

「ふきのとう 苦さを今は 楽しみり」



Peace through Service

ROTARY CLUB OF NODA

第2690回例会

点 鐘 古谷 尊生 会長
司 会 尾形 知哉 会員
ソ ン グ 手に手つないで

出席 今回分(2月25日分)
会員49名中38名出席(77.55%)

御誕生祝い



仲田 房蔵 会員(2月 9日)

ニコニコボックス

仲田 房蔵 会員
誕生祝いありがとうございます。
山本 章裕 会員
結婚祝いありがとうございます。
茂木七郎治 会員
結婚祝いありがとうございます。
早退 3名

御結婚祝い



山本 章裕 会員(2月29日)
茂木七郎治 会員(3月 2日)



幹事報告

三浦 直哉 幹事



例会変更・休会のお知らせ

○柏西ロータリークラブ

3月29日(金)…移動例会に変更

東日本大震災被災地(飯岡)視察

○皆様にご協力頂きました「ダルニー基金」のダルニー通信69号が送付されました。是非皆様に読んでいただきたいと案内致します。

○(公社)野田青年会議所より第3回NODA-1Grand Prixの後援と協賛を頂きたい旨の申請書協賛のお願いがきています。

委員会報告

地区職業奉仕委員会
高梨昇一郎 委員



地区委員としてライラに参加します。

会員増強委員会



成田で地区小委員会に出席、7月まで2名増強出来そうです。

米山委員会



寄付をお願いします。



卓 話

尾形 知哉 会員

「食 育」

概要

食育は、国民一人一人が、生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の確保等が図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を楽しく

身に付けるための学習等の取組みを指す。2005年に成立した食育基本法においては、生きるための基本的な知識であり、知識の教育、道徳教育、体育教育の基礎となるべきもの、と位置づけられている。単なる料理教育ではなく、食に対する心構えや栄養学、伝統的な食文化、食ができるまでの一次産品および二次産品の生産についての総合的な教育のことである。この言葉を造語した石塚左玄は、食品の与える影響に関する独自の説によって、子どもに食べさせる食品の影響によって子どもの心身を養うという意味で用いた。



語源

「食育」という言葉は、石塚左玄が1896年(明治29年)と1898年(明治31年)の著作(化学的食養長寿論、通俗食物養生法)で「体育智育才育は即ち食育なり」と造語し用いられている。1903年(明治36年)には報知新聞編集長・村井弦斎が、連載していた人気小説「食道楽」の中で「小児には徳育よりも、智育よりも、体育よりも、食育がさき。体育、徳育の根元も食育にある。」と記述している。最近、「食育」という言葉が改めて広く聞かれるようになったが、そのルーツは大変古い物である。石塚の原文を読むと、彼が唱えた「科学的食養法」では、当時の栄養学に対し、炭水化物、脂肪、蛋白質だけを重要視し、ミネラルの作用を軽視していると指摘している。さらに食品に含まれるミネラルのナトリウムとカリウムのバランスに注目した。塩や肉や魚を摂り過ぎればナトリウム過剰となり心身の健康を害すると主張している。また「白い米は粕である」と言い玄米をすすめた。白米飯やパンや肉が多く野菜の少ない食事は心身の健康を害すると唱えた。左玄の唱えた食育は、学童期はカリウムのバランスが多い食事によって身体と学習能力を育むことを意味している。



石塚左玄

野田ロータリークラブ 例会・卓話予定表

月 日	卓 話 ・ 行 事	月 日	卓 話 ・ 行 事
3月 4日(月)	卓話 岡安 誠人 会員	3月18日(月)	卓話 佐野 浩平 会員
3月11日(月)	卓話 堺 房男 会員	3月25日(月)	卓話 染谷 栄 会員